



2010～2011 年度 RI 会長
Ray Klingensmith



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1135 / 2011. 5. 13

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報

「原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ」

2010～2011年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/吉岡琢磨会長

●本日の例会/ 2011 年 5 月 13 日 第 1161 回

卓話: 「相撲道に学ぶ覚悟 根性 志し」

株式会社 玉海力 代表取締役

元幕内玉海力 河邊 幸夫 氏

●前回報告/2011 年 4 月 22 日 第 1160 回例会

東京赤坂 RC ・ 東京麻布 RC
～ 合同例会が開催されました～

東京赤坂 RC と東京麻布 RC との合同例会が開催されました。両クラブが合同例会を行うのは初めての試みでした。今回は東京赤坂 RC がホストの役目を勤め、例会には金澤ガバナー補佐、猪山グループ幹事が来賓として出席され、金澤ガバナー補佐にお祝の挨拶を頂戴いたしました。次回の合同例会は麻布 RC がホストとして、6 月 1 日に開催されます。(橋本記)

吉岡会長挨拶: 本日は、東京赤坂 RC、東京麻布 RC の合同例会を開催いたします。東京麻布 RC の皆様ようこそいらっしゃいました。金澤ガバナー補佐、猪山グループ幹事、ご多忙の中ありがとうございます。

佐々木会長挨拶: 東京麻布ロータリークラブの会長を務めさせて頂いております佐々木敦也でございます。本日はお忙しい中、東京赤坂ロータリークラブと、東京麻布ロータリークラブの合同例会にご出席頂き、誠にありがとうございます。私が申し上げるまでもなく、私共のクラブは、東京赤坂ロータリークラブさんをスポンサークラブとして、2003 年 7 月 30 日創立総会を行いました。私はチャーターメンバーではございませんので、当時の事は知りませんが、私共のクラブ創立にあたっては、赤坂ロータリークラブの皆様にご多大なるご尽力を賜ったと聞いております。その後、8 年が経ちまして、そろそろ、子が親を超えなければならぬ時期になってきたと思っておりますが、どうも成長の遅い子供で、未だ会員数が創立当時の 22 人と、全く変わっておりません。その為、財政的にも厳しく、クラブ運営も限られた人数で行わなければならないという状態が続いております。また、炉辺会や旅行会といった親睦活動は、いつも同じ顔ぶれで、奉仕活動も少ない人数で出来る事に限られてしまいます。しかし、私共のクラブだけでは出来ない事も、赤坂さんと一緒にあれば出来る。そんな事がたくさんあるように思います。今日は合同例会という事で、まずは隣の方と親しくなって頂き、今後は、例会に留まらず、両クラブ合同での親睦活動、奉仕活動に取り組んで行けたら素晴らしいな、と思っております。どうぞ宜しくお願いします。



東京赤坂 RC
吉岡会長



東京麻布 RC
佐々木会長



左から
東京赤坂 RC
橋本幹事 / 東京麻布 RC 加藤幹事 /
東京赤坂 RC 清水ソングリーダー

金澤ガバナー補佐挨拶: 本日は、記念すべき合同例会にお招きいただき、大変ありがとうございます。現在はまだ震災の余波が続いております。地区としても、義援金を集めることに主眼を置き、かなり精力的に動いてきました。幸いにして、震災間もない 3/29 までに第一回目の義援金を集めることができ、被災地に送ることができました。今後も、こうした未曾有の事態にこそ、ロータリー・クラブとして何が出来るか、皆で考えていきたいと思っております。



金澤ガバナー補佐

ロータリーミニ情報 NO.11

騎士道とロータリー

騎士道とロータリーは成立過程は全く異なり、相互に関連は無いものの、ともに奉仕と高潔性を求める価値体系である。比べてみよう。中世ヨーロッパは騎士の時代である。当時、荘園領主が群雄割拠、謀略、貪欲、略奪、裏切りなどの横行する世の中であった。その対抗として、当時の騎士・貴族階級のための厳しい倫理行動規範となったのが騎士道である。騎士道とは、無私、勇気、優しさ、慈悲の心、社会的、経済的な弱者の保護、惜しみなく与えること、などである。乱れた世の中であって、いや乱れた世の中だからこそ、騎士、貴族、荘園領主など当時の支配層がこの倫理行動規範を守れば大変な荣誉であり、大きく賞賛された。

騎士道は何故荣誉であり賞賛されるのか。その根源としての拠りどころは、Noblesse Oblige (ノブレス・オブリージュ、フランス語。英語ではノーブル・オブリゲーション) にある。その意味は、"身分の高いものは身分にふさわしい振る舞いをしなければならない"、"そのためには、" 持てる者は与える義務がある。" である。貴族には、貴族としての特権、財産などを、国民・社会のために役立てる責任と義務がある。この考えはキリスト教の聖書の一節、「多く与えられた者は、多く要求される。」(ルカによる福音書) に基づいている。当時の貴族階級がいずれも敬虔なキリスト教徒であったのは言うまでも無い。

ノブレス・オブリージュの精神は、形を変えて、現代も営々と息付いている。先日、ロイヤル・ウェディングで世界の関心を集めた英国のウィリアム王子の幅広い社会奉仕活動はよく知られているところである。カーネギー財団もビル・ゲイツの寄付活動もその一角を占める。ロータリーも 100 年以上の長い歴史と実績を基に国際ロータリー (RI) による世界規模の奉仕活動を展開している。ロータリーの友 2010 年 10 月号に、ノブレス・オブリージュとロータリーの関係が取り上げられている。(8 ページ) その要旨を見てみよう。「ロータリアンの中には、自分は選ばれた人との思いを持つ人がいる。謂わば、エリートをもって任ずる気概である。このロータリアンの気概と志はノブレス・オブリージュと相通ずるものがある。しかし、選ばれた人と言っても、ノブレス・オブリージュとロータリアンが決定的に異なる点がある。それはノブレス・オブリージュが貴族階層及びそれに類する人を初めから対象としているのに比べ、ロータリアンは生まれながらのエリートではないことである。ロータリアンは、アメリカ的な万人平等の思想の中から全世界で百万人以上輩出して来た。そして一人の人間として社会奉仕、職業奉仕等を通じ、世のため人のために尽そうというのがロータリアンである。」

ロータリアン一人一人が現代の、自らを高めた、誇り高き「騎士」ではないだろうか。(責: 渡部一元 R 情報委員)



集合写真



例会風景



ニコニコ担当 東京赤坂RC 西澤会員
東京麻布RC 鈴江会員



4月22日(金)/23件 50,000円 累計1,090,600円
多額の寄付を有難うございました。

東京赤坂RC：吉岡琢磨/麻布ロータリークラブの皆様、本日はようこそいらっしゃいました。北原さん、本日の卓話楽しみにしています。橋本年男/金澤ガバナー補佐、猪山グループ幹事、合同例会によるお越し頂きました。麻布RCの皆様、本日の合同例会、大変楽しみです。武下朗/麻布の皆様ようこそ。入沢頼二/合同例会おめでとうございます。懐かしい方も多く、うれしく思います。小原健/麻布の皆様いらっしゃいませ。尾関武男/麻布・赤坂合同例会を祝して。土屋東一/麻布の皆さん、赤坂へようこそ。西澤さん美女に囲まれてニコニコ嬉しそう。清水實/麻布の皆様、ようこそいらっしゃいました。なつかしい顔もちらほら。庄司泰典/北原さん、本日の卓話楽しみです。藤井万博/東京麻布RCの皆様、ようこそいらっしゃいました。尾上寛/東京麻布RCさん、ようこそ合同例会へ。西澤民夫/麻布RCの皆様よくいらっしゃいました。北原さん、テレビでは良く見かけます。とても楽しみにしています。沢山のニコニコありがとうございました。

東京麻布RC：佐々木敦也/北原様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。赤坂RCの皆様、本日は宜しくお願ひ致します。加藤千博/本日の合同例会、楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願ひいたします。伊藤照代/合同例会、お世話になります。今日は、はじめて期日前投票をしてみました。辻穂高/合同例会、赤坂の皆様との親睦、友情ますます深まる事を祈って。関征春/赤坂のみな様、ご無沙汰いたしました。渡邊敏/日曜日は仙台へ行きます。まずは実情をみてきます。平野裕二/合同例会お世話になります。片岡美江/今日はとても楽しみに伺わせていただきました。ありがとうございます。水野勝広/赤坂の皆様、今日はよろしくお願ひします。松平明子/北原様、ようこそ。卓話楽しみにしております。

前回の卓話

卓話テーマ：「言葉の力」
(株)イプランニング 代表取締役社長 北原 照久 氏



卓話：北原照久氏



卓話紹介：庄司会員

出席報告：

東京赤坂RC 会員49名 出席28名・欠席21名
東京麻布RC 会員22名 出席13名・欠席9名

ゲスト：計3名(敬称略)

北原照久(卓話)、金澤洋ガバナー補佐、猪山グループ幹事

ビジター：計3名(敬称略) 近藤昌平(東京RC)、小林啓文(東京RC)、菅野谷純正(東京大森RC)

●次回予告/2011年5月20日(金) 第1162例会

卓話予定：「香と香道について」

香道 直心流 師範 松崎 香蓮 氏